

# 親子のミカタ

- 今回のテーマは、ズバリ、「親子のミカタ」。
- 今号では、自らの子育て経験を生かして、親子で楽しめるイベントや親学講座の運営など、身近な地域で家庭教育支援のボランティア活動を行っている家庭教育支援活動者の方々に、自身の子育てや支援者としての経験をもとに、「親子のミカタ」についてお話を伺いました。
- 皆さんの家庭教育の参考にしていただければ幸いです。

## 『家庭教育支援活動者』って…



こんにちは。進行係の生涯学習課・家庭教育支援担当の“わかさん”です。まず、本日より一緒にトークをしていただく方をご紹介します。

家庭教育支援活動者の“かじちゃん”です。



同じく支援活動者の“まゆちゃん”です。



まず初めに、皆さんの活動について、簡単に教えてください。



子どもの家※などで、親子を対象に、絵本の読み聞かせや簡単ものづくり教室などを行っています。ものづくりのとき、親はものづくりを行い、その間、子どもと一緒に作ったり親の近くで遊んだりしています。

子育て中、特に子どもが小さいと、親子だけの時間が多くなりがちです。ほんの少しの間でも、子育て以外のことに集中する時間を過ごしてもらえたらと思います。気分転換にもなりますし、大切だと思います。

### 牛乳パックを使った“からくり箱”



製作にちょっとコツが必要ですが、イラストの場所を工夫すると、遊び方にも変化が出てきます。



※子どもの家…宇都宮市では小学校内などにある55か所の「子どもの家」で、乳幼児と保護者の方に遊びと交流の場を提供しています。

転入してくる方も多いまちなので、なかなか時期を同じく子育てをしている家庭に会うのがむずかしいことも…。親子を対象にしたものづくり教室って、ある意味、「子どもを通して知り合いが増える場所」にもなっていると思います。



確かに。「子育てするなら宇都宮」と誇れるくらい支援が充実していますが、講座は、そのきっかけの1つとしても大切ですね。



それから、子育ては“じゃんぐり(順繰り)”だと思っています。『自分がしてもらったこと、助けてもらったことを、次の人につたえていく』それが、“じゃんぐり”のつながり。今は私が、「つたえる」番かなと思っています。



ところで、「ミカタ」って…  
『味方』?『見方』もあるような…?





なるほど。では、今の親子を取り巻く「見方（とらえ方）」について、最近、話題として取り上げられるものについて、私からお話をしましょう。

父親の積極的な  
育児参加

近所づきあいが減り、  
子育ての悩みなど  
共有する場の減少

子育て情報は  
「教わる」よりも  
「検索」傾向に

## 子育てに関する世代間ギャップ

(例) あかちゃんが泣き出したとき・・・

### 祖父母世代

泣くとすぐに「だっこ」は  
抱き癖がつくから控えて!



### 親世代

泣いたら、すぐ抱っこOK  
抱き癖はつきません!



現在の子育てにおいて、  
抱っこをすることは、子  
どもの「心の安定」と  
「自己肯定感」を育む  
大切なものとされてい  
ます。

祖父母世代の皆様へ

子育てに関して「良い」とされる情報は変化・進歩するため、親世代の子育て法と違いができてしまいがちですが、決して皆様を否定しているわけではありません。皆様の協力は親世代にとってありがたいものです。現在主流となっている子育て法を知り、これからも“親”と“孫”の良きサポーターとして温かく見守ってください。

## さて、次は、親子の「味方」について



多くの人が、イメージするのは、次のような人たちではないでしょうか?

親の“親”

友人・知人

専門家  
(保健師など)



でも・・・

ママの立場に立ってみると、次のような人も考えられるのではないのでしょうか?

少しの間、子どもを  
みてくれる人

悩んだときに  
話ができる人

身近な子育て経験者  
(近所のおばちゃん)

そうですね。例えばですが、親子一緒であれば、次のような場所を利用してみると皆さんが思う“味方”に出会えるかもしれませんね。



## 陽南子どもの家で…

- ①はぎこさん
- ②親子の楽しそうな笑顔、ありがとうの言葉、バイバイのハイタッチは、大きな喜びです。
- ③月に一度、テーマに合ったおもちゃ作り、手遊びなど、ワイワイ遊んでいます。楽しく過ごせますので、ぜひ参加してみてください。子育て応援の仲間がいつでも待っています。



ただの、「風船プール」! だけど、すごく大人気!!

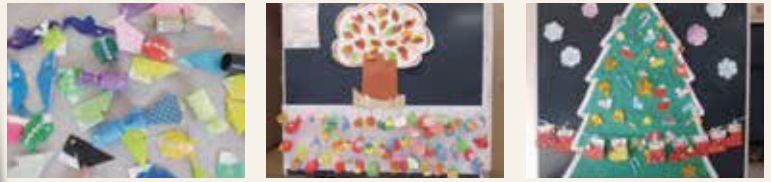
時には、本物! 丸ごと触って、貴重な体験!



それぞれの場所で活動をしている方からのメッセージもいただきました。

①活動者名、②活動の楽しさ、③活動のPR

遊び道具や飾りつけは参加者の手作り。簡単にできて、最後は持ち帰りOK!



- ①ひろこさん
- ②自分が考えた遊びを、笑顔で遊んでくれた時。また、親子と一緒に活動する、そのほほえましい姿に、自分の心もほっこりします。
- ③お母さんたちも徐々に顔見知りになって笑顔のおしゃべりがたくさん増えています。親子講座のない日でも、少ない人数でゆっくり、のんびり時間を過ごすのも良いと思います。(実は、私も人見知りの性格です。)きっと、心がホッとするので、ぜひ足を運んでみてください。



みんなで楽しくうたいましょう!



親子一緒に紙皿めくりゲーム



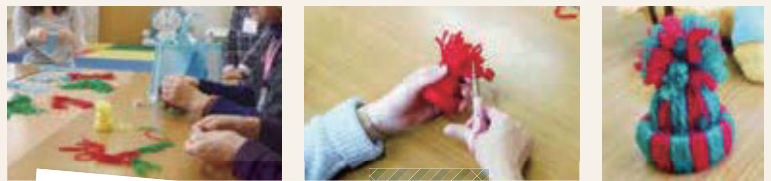
## 御幸が原子どもの家で…

- ①とみさん
- ②何よりも笑顔を得ることができること。また、私たちが考えた活動に、楽しく参加してくれることに、“ホッと”感を覚えます。
- ③「うたをうたう」「ものづくり」「紙芝居や読み聞かせ」を、子どもたちの状況に応じて、臨機応変にやっています。安心して遊びにきてください。

- ①かこさん
- ③簡単な工作なので、楽しく作って、おみやげに持って帰れます。絵本の読み聞かせは、みんなワクワクしながら聞いていますよ。

“音”と“形”と“体験”を記録として残せて、素敵なアルバムにもなる「手づくり絵本」。写真は、“紙のビリビリ”を表現したページです。

手編みの「ミニミニ・ニット帽」。簡単なのに、完成度にびっくり!



- ①きむあさん
- ②親子が、絵本をみたり、手遊びや製作をしたりする姿を見ると、ホッとしたり、“幸せ”を感じます。親子が「またね!」と明るい表情で帰っていく姿を見ると、「今日もよかったなあ」と思い、次回への意欲がわいてきます。
- ③絵本の読み聞かせや製作など、お子さんと一緒に、楽しみませんか? 私たちと一緒に、“子育て”をしていきましょう。



## それぞれの地域でも活躍中!



支援活動者の企画運営による  
「フランさんと  
浩子さんのおはなし会」  
(市内保育園)

手遊び歌や優しく穏やかな語りによるおはなし、時には英語を交えたおはなしもあり、いつまでも聞いていたいと感じたおはなし会でした。

## 2019年もやります!親学出前講座

毎年大好評の「親学出前講座」。ご紹介している支援活動者や企業等との連携講座を含め充実したプログラムをご用意しています。

また、仕事のため講座に参加できない方のために、依頼に応じ企業等の研修や勉強会にお伺いして、子どもの自己肯定感の育み方などの講座も行っています。

詳しい内容や申込方法については、市のホームページか生涯学習課(☎632-2648)までお問い合わせください。お待ちしております。





最後に、お二方から、今、子育てをしている方へのメッセージをお願いします。

子育てをしていると、子どもの成長に喜びを感じ、楽しいことが多いと思いますが、時には、「つらい」、「うまくいかない」などと感じることだってあると思います。もしかしたら、大変さの方が多くなることも…。だけど、「子育てに悩みはつきもの」です。一人で悩まないでください。

**1人目の子が生まれれば、誰だって「親、1年目」、  
2人目が生まれれば、「2人の子どもの親、1年目」、**

子育て中、本当にいろいろなことが起きるから、うまくいかなかったって当然です。子育てが少し落ち着いて、ふりかえてみると、大変だったからこそ、かけがえのない思い出になっていることが多いと思います。

「子育てって楽しい」もの、そう思ってくれたら、うれしいです。



## こどもるっくる版 親学出前講座

親学出前講座(生涯学習課プログラム)の参加者に、前号でお知らせした「親子のきずなガッチリ運動」の、親子のあいさつについて聞いてみたところ、「親子、どちらからもあいさつができています」などの声が多かったです。

しかし、中には、「親があいさつをすれば、子どももあいさつをするけれど、子どもからのあいさつがないので、ついつい『あいさつをしなさい』と怒ってしまう」との声も寄せられました。

では、こんなときは、どうすればいいのでしょうか。それは…

- それでも、まずは、親からあいさつをしましょう!
- 『あいさつをしなさい』の指示型より、『あいさつをしよう』の提案型を!
- 子どもから、あいさつをしてきたとき、「あいさつをすると気持ちがいいね」や「あいさつをしてくれてうれしいよ」など、すぐにほめてあげましょう。

ちなみに今、話をさせていただいたことは、先人からの教えにもあります。それは…

**『やって見せ、言ってみせて、させてみせ、  
ほめてやらねば、人は動かじ』**

「子どもの手本となる50の言葉」※(宇都宮市)より

※社会総ぐるみによる人づくりを一層推進するため、大人が子どもの手本として行動する拠り所となる言葉を選定したものです。